

令和 6 年 6 月 21 日現在

機関番号：14301

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K20774

研究課題名（和文）生活保護受給者の健康管理支援優先度導出システムの開発と利用による効果の実証分析

研究課題名（英文）Developing the information systems of healthcare support services for public assistance recipients

研究代表者

近藤 尚己（Kondo, Naoki）

京都大学・医学研究科・教授

研究者番号：20345705

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,800,000円

研究成果の概要（和文）：生活困窮者は様々な健康課題を抱えていることが多く、その実態把握と支援法の開発が求められる。自治体が所有する生活保護利用者の住民基本データや医療扶助・介護扶助レセプトデータを用いて、生活保護利用者の社会関係や生活背景と健康や受療行動との関係を明らかにした。男女それぞれに、合理的な説明が可能な5つの特徴的な利用者クラスターを導出し、特定のクラスターと頻回受診や健康アウトカムとの関連があることが明らかとなった。これらの分析結果をもとに、ケースワーカー支援のための支援法を提案するデータツールに実装するためのアルゴリズムを構築した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

生活保護利用者の健康や受療の傾向に関連する社会生活の要因はまだ十分明らかにされてきていない中で、今回得た知見は、同利用者への健康管理支援の方針を検討する際に役立つエビデンスとなりうる。また、構築した生活保護利用者の特性に関するクラスターカテゴリーやその行動特性を導出するアルゴリズムは、ケースワーカーが相談相手の健康管理支援ニーズを把握したり、支援法を検討する際に、その意思決定をサポートするツール開発に役立つと思われる。本研究成果は福祉事務所のデータ管理システムを提供している企業との協力により得られたものであり、今後、そういった事業者を通じた社会実装を進めていく予定である。

研究成果の概要（英文）：People experiencing financial hardship often face various health issues, necessitating the understanding of their realities and the development of support methods. By utilizing the resident data and medical and long-term care assistance receipt data of welfare recipients owned by local governments, we clarified the relationship between the social relationships and living backgrounds of welfare recipients and their health conditions and medical service utilization behaviors. For both men and women, five distinctive user clusters with rational explanations were identified, and it was found that certain clusters were associated with frequent medical visits and health outcomes. Based on these analysis results, we constructed algorithms to be implemented in data tools for proposing support methods for caseworkers.

研究分野：社会疫学

キーワード：健康の社会的決定要因 健康格差 生活保護 健康管理支援 機械学習 マーケティング 福祉事務所

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

生活困窮者は様々な健康課題を抱えていることが多く、その実態把握と支援法の開発が求められる。これまで、自治体が所有する生活保護受給者の住民基本データや医療扶助・介護扶助レセプトデータを連結した 2 自治体分の縦断追跡データを用いて、医療機関の頻回受診に独居・不就労・ひとり親世帯・外国籍など社会的孤立に関連する状況が関連していることや、機械学習アルゴリズムを用いて、対象者の属性と健康行動との組み合わせパターンの抽出に成功した。これら分析結果をもとに健康管理支援プランを自動提案するアルゴリズムを構築・実装し、プロトタイプとして運用を開始した。実用性をさらに高めるには、個人の心理社会的背景を考慮した支援プラン提案アルゴリズムの構築、実際の支援プランの効果や、効果に影響を与える要因の評価が必要と考えた。

2. 研究の目的

自治体が所有する生活保護受給者の住民基本データや医療扶助・介護扶助レセプトデータを用いて、1)生活保護受給者の社会関係や生活背景についての新たな詳細データを追加し、最適な支援プランを提示するアルゴリズムを開発する。また、2)支援プランの効果の有無、および効果に影響を及ぼす要因を明らかにする。これらにより、提示する支援プランの妥当性を高め、生活保護受給者への健康管理支援を効率的・効果的に推進する新しい情報システムの基盤となる知見を得ることを目的とした。

3. 研究の方法

生活保護受給者の住民基本データや医療扶助・介護扶助レセプトデータを用いて、生活保護受給者の社会関係や生活背景についての新たなデータを追加し、最適な支援プランを提示するアルゴリズムを開発した。生活保護受給者は定期的に担当のケースワーカーとの面談等でデータを収集し、心理社会的背景の評価尺度等を用いて受給者個人の心理社会状況や生活歴のデータを収集した。これらの生活歴に関するデータを受給者の住民基本データや医療(介護)扶助レセプトデータと結合したデータの提供を受けた。また、それらデータを使い、潜在意味分析等の技術を用いて、生活保護受給者の高齢者の特性に関する 5 つのグループを同定した。さらに、そのような特徴(ペルソナ像)を持つ人々への支援の現場での対応について、福祉事務所のケースワーカーや保健師等へのヒアリングを行った。

4. 研究成果

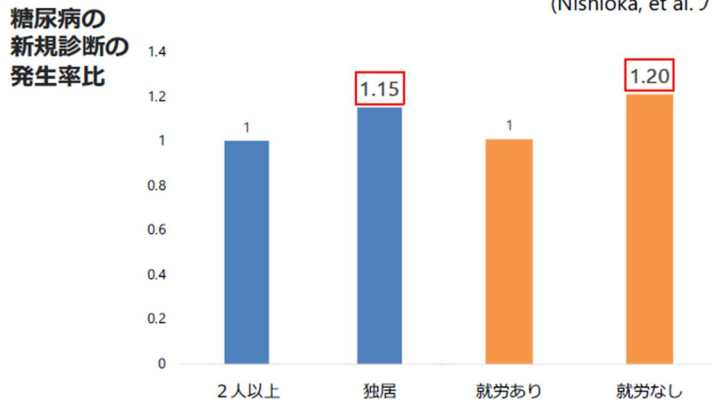
小児の慢性疾患や歯科疾患、成人の糖尿病発生や頻回受診に、孤立や慢性的な社会ストレスが関与している可能性が見いだされた。また、頻回受診に関連するリスク集団を機械学習の手法で同定し、支援を強化すべき集団を抽出するアルゴリズムを作成した。確率的潜在意味分析を用いて一般成人と高齢者の男女それぞれに、合理的な説明が可能な 5 つ程度の特徴的な受給者クラスターを導出した。そして、クラスターごとに特有の日常生活上のニーズがあること、また特定のクラスターには健康・福祉サービスニーズがあることが明らかとなった。

さらに、社会関係が豊かなほど、必要な時に生活保護を受けやすく、また経済的に自立し生活保護を終了できる可能性が高いこと、生活保護を終了した人は社会関係が広がること等を明らかにした。生活保護を受給している高齢者はその他の高齢者に比べて抑うつリスクが極めて高いことも明らかにした。また、社会的孤立や孤独感を抱えやすい生活保護受給者の特徴や自殺リスク等についての実態が明らかとなった。また、全国規模の高齢者データを用いて、歯科受診の頻度がその有病割合に反して一般集団よりも低調であることを明らかにした。

これらの分析結果をもとに、プロトタイプとして作成したケースワーカー支援のためのデータツールに実装するためのアルゴリズムを構築した。成果を踏まえて、書籍・シンポジウム、研修会等での成果公表をすすめた。また、本研究で確立した支援者への支援データツール導出アルゴリズムを、生活保護世帯の子どもへと実装するための新たな研究プロジェクト(JST-RISTEX 助成「地域とつくる「どこでもドア」型ハイブリッド・ケアネットワーク」(代表・近藤尚己))を立ち上げ並行して研究をすすめた。さらに、今後より効率的・標準的に優先的に支援対象とするべき生活保護受給者をスクリーニングするための標準質問票を作成する社会福祉推進事業の実施(厚生労働省委託)や関連する厚生労働科学研究(特別研究)へとつながった。

糖尿病の新規診断は、独居・不就労の利用者が多い

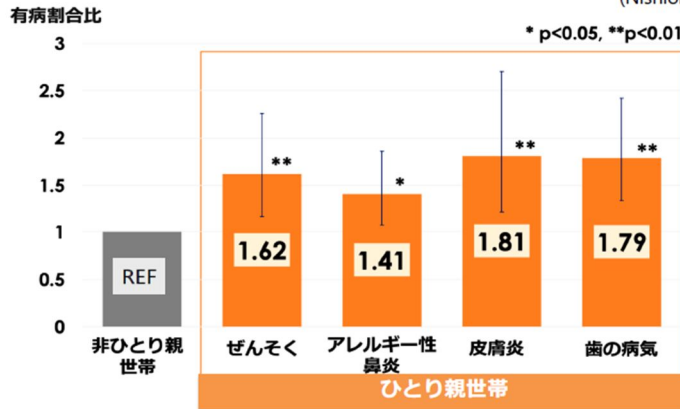
(Nishioka, et al. *J Diabetes Investig.* 2021)



都市近郊2自治体、20-64歳の成人 (N=2144) を1年間追跡
多変量ポアソン回帰分析：年齢・性別・居住地・世帯の他の要因等調整

こどもの喘息・アレルギー疾患・歯の病気の受診はひとり親世帯が多い

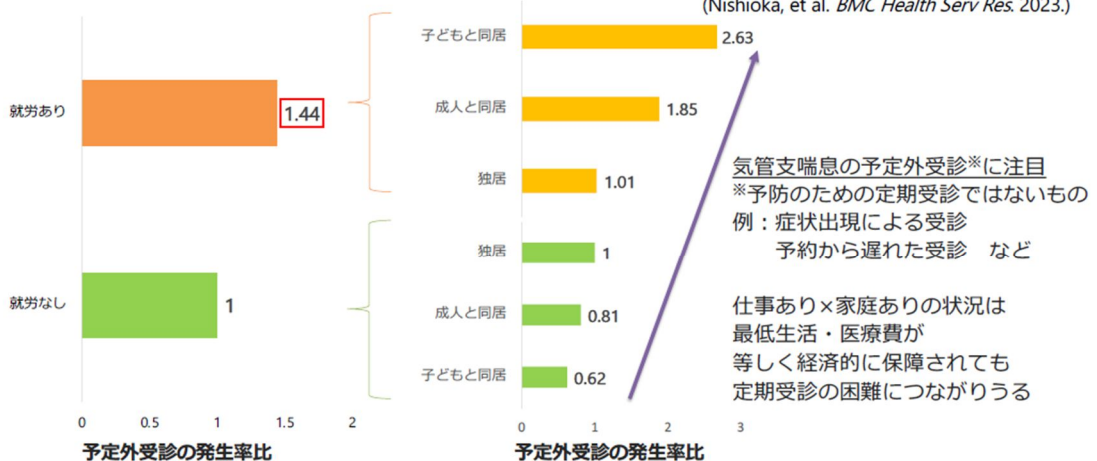
(Nishioka, et al. *BMC Pediatr.* 2021)



都市近郊2自治体、0-15歳の子ども (N=573) を1年間追跡
多変量ポアソン回帰分析：年齢・性別・居住地・世帯の他の要因等調整

生活保護：仕事×家庭の状況によって受診の確率が異なる

(Nishioka, et al. *BMC Health Serv Res.* 2023.)



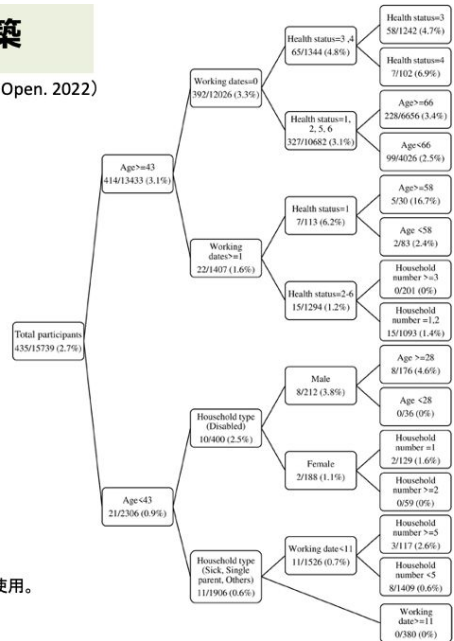
都市近郊の2自治体の生活保護管理データと医療扶助・介護扶助レセプトデータを2016年1月から1年間追跡して分析。追跡当初3ヶ月間で喘息の管理を受けているもの(定期通院者)を除く。対象者は20歳以上65歳未満の生活保護利用者(n=2386人, うち予定外受診者は121人)。喘息の予定外受診をアウトカムとする多変量ポアソン回帰分析(ロバスト標準誤差を推定)の結果。年齢・居住環境・要介護度・居住地・個人と世帯の他の要因調整済。

頻回受診をアウトカムにした予測モデルの構築

(Nishioka, et al. BMJ Open. 2022)

| 頻回受診 全体 (%) | 435 | 15739 | 2.76% |
|---|-----|-------|-------|
| 全体 | 435 | 15739 | 2.76% |
| 年齢 \geq 48&保護歴の有無(2)&就労日数 \geq 1&加算等の状況(1) &障害傷病の状況(1) | 6 | 53 | 11.3% |
| 年齢 \geq 66&保護歴の有無(1)&世帯人員数=1&年金の受給状況(1) &障害傷病の状況(4, 9, 3, 5, 1) | 38 | 453 | 8.4% |
| 年齢 \geq 43&保護歴の有無(1)&世帯人員数=1&年金の受給状況(2) &障害傷病の状況(3, 6) | 23 | 356 | 6.5% |
| | | | |
| 年齢 \geq 43&保護歴の有無(1)&世帯人員数 \geq 2&世帯類型(2, 3, 4, 5) | 0 | 181 | 0.00% |
| 年齢 \geq 84&保護歴の有無(2)&就労日数=0&加算等の状況(2) &年金の受給状況(2)&国籍(11, 12, 21, 41, 42, 99) | 0 | 132 | 0.00% |
| 年齢(43-48)&保護歴の有無(2)&就労日数 \geq 1&加算等の状況(1) | 0 | 130 | 0.00% |
| 年齢 \geq 43&保護歴の有無(2)&就労日数 \geq 1&加算等の状況(2) | 5 | 727 | 0.69% |
| 年齢 $<$ 43&世帯類型(4, 3, 6, 9, 2) | 11 | 1906 | 0.58% |

都市近郊4自治体・地方2自治体で、生活保護管理データに登録されたデータだけを説明変数に使用。
対象者は20歳以上の成人受給者(15739人 うち1年以内の頻回受診経験者435人)。
頻回受診の有無をアウトカムとする決定木分析の結果。



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計29件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 20件）

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 23 |
| 2. 論文標題 Sociodemographic inequities in unscheduled asthma care visits among public assistance recipients in Japan: additional risk by household composition among workers | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 BMC Health Services Research | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12913-023-10110-9 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Kino Shiho, Ueno Keiko, Nishioka Daisuke, Kondo Naoki, Aida Jun | 4. 巻 52 |
| 2. 論文標題 Prevalence of dental visits in older Japanese adults receiving public assistance | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Community Dentistry and Oral Epidemiology | 6. 最初と最後の頁 68 ~ 75 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/cdoe.12902 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Ueno Keiko, Nishioka Daisuke, Saito Junko, Kino Shiho, Kondo Naoki | 4. 巻 22 |
| 2. 論文標題 Identifying meaningful subpopulation segments among older public assistance recipients: a mixed methods study to develop tailor-made health and welfare interventions | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 International Journal for Equity in Health | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12939-023-01959-7 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 西岡大輔 | 4. 巻 360 |
| 2. 論文標題 【特集：研究報告会2023（2023.8.19）】被保護者の健康および受療行動に関連する地域の社会環境要因福祉事務所データなどを用いた実証研究． | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 国民医療 | 6. 最初と最後の頁 10-17 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 西岡大輔 | 4. 巻 269 |
| 2. 論文標題 「健康管理支援事業」を考える データからみる被保護者健康管理支援事業の着眼点(8) | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 季刊公的扶助研究 | 6. 最初と最後の頁 27-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 西岡大輔 | 4. 巻 151 |
| 2. 論文標題 健康格差社会への対応 健康格差に対する学会・団体活動・国内外の動向 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 日本医師会雑誌 | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Kino Shiho, Stickley Andrew, Arakawa Yuki, Saito Masashige, Saito Tami, Kondo Naoki | 4. 巻 23 |
| 2. 論文標題 Social isolation, loneliness, and their correlates in older Japanese adults | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Psychogeriatrics | 6. 最初と最後の頁 475 ~ 486 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12957 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Kino Shiho, Stickley Andrew, Nishioka Daisuke, Ueno Keiko, Saito Masashige, Ojima Toshiyuki, Kondo Naoki | 4. 巻 76 |
| 2. 論文標題 Suicidal ideation and suicide attempts among older recipients of public welfare assistance in Japan | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Epidemiology and Community Health | 6. 最初と最後の頁 873 ~ 879 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12957 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Kino Shiho, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 12 |
| 2. 論文標題 Risk profiles of frequent outpatients among public assistance recipients in Japan: a retrospective cohort study using a classification and regression trees algorithm | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 BMJ Open | 6. 最初と最後の頁 e054035 ~ e054035 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jech-2022-218893 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Kino Shiho, Nishioka Daisuke, Ueno Keiko, Haseda Maho, Kondo Naoki | 4. 巻 22 |
| 2. 論文標題 Public assistance program and depressive symptoms of the recipient: a cross-sectional Japan Gerontological Evaluation Study | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 BMC Geriatrics | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2021-054035 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Kino Shiho, Nishioka Daisuke, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 99 |
| 2. 論文標題 Role of psychosocial factors in starting and leaving public assistance programs by older Japanese population: Longitudinal Japan Gerontological Evaluation Study | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics | 6. 最初と最後の頁 104615 ~ 104615 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-022-02868-0 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 上野 恵子、西岡 大輔、近藤 尚己 | 4. 巻 69 |
| 2. 論文標題 生活保護受給者への健康管理支援事業に対する福祉事務所の期待と課題認識：福祉事務所への質問紙およびヒアリング調査結果より | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌 | 6. 最初と最後の頁 48 ~ 58 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2021.104615 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 上野 恵子、西岡 大輔、近藤 尚己 | 4. 巻 69 |
| 2. 論文標題 生活保護受給者への健康管理支援事業に対する福祉事務所の期待と課題認識：福祉事務所への質問紙およびヒアリング調査結果より | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌 | 6. 最初と最後の頁 48～58 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.archger.2021.104615 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------------|
| 1. 著者名 Kino Shiho, Nishioka Daisuke, Ueno Keiko, Saito Masashige, Kondo Naoki | 4. 巻 293 |
| 2. 論文標題 Changes in social relationships by the initiation and termination of public assistance in the older Japanese population: A JAGES panel study | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Social Science and Medicine | 6. 最初と最後の頁 114661～114661 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11236/jph.21-070 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Takaku Reo, Kondo Naoki | 4. 巻 76 |
| 2. 論文標題 Medical expenditure after marginal cut of cash benefit among public assistance recipients in Japan: natural experimental evidence | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Epidemiology and Community Health | 6. 最初と最後の頁 505～511 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.socscimed.2021.114661 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Ueno Keiko, Kino Shiho, Aida Jun, Kondo Naoki | 4. 巻 20 |
| 2. 論文標題 Sociodemographic inequities in dental care utilisation among governmental welfare recipients in Japan: a retrospective cohort study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 International Journal for Equity in Health | 6. 最初と最後の頁 141 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1136/jech-2021-217296 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Tamaki Chisato, Furuita Noriko, Nakagawa Hirokazu, Sasaki Erin, Uematsu Rika, Ozaki Takeshi, Wakata Satoshi, Kondo Naoki | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Changes in Health-related Quality of Life Among Impoverished Persons in the Free/Low-Cost Medical Care Program in Japan: Evidence From a Prospective Cohort Study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Epidemiology | 6. 最初と最後の頁 1-5 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12939-021-01473-8 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 12 |
| 2. 論文標題 Non financial social determinants of diabetes among public assistance recipients in Japan: A cohort study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation | 6. 最初と最後の頁 1104 ~ 1111 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20210005 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 21 |
| 2. 論文標題 Single-parenthood and health conditions among children receiving public assistance in Japan: a cohort study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 BMC Pediatrics | 6. 最初と最後の頁 214 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13435 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 近藤 尚己, 森 亮太, 山中 光茂 | 4. 巻 76(10) |
| 2. 論文標題 【貧困と医療～貧困大国ニッポンの医療・健康格差～】(Part 3)貧困と医療・健康格差を問う | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 保険診療 | 6. 最初と最後の頁 15-22 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 小泉 伸, 近藤 尚己, 中板 育美, 藤田 恭子, 山野 則子 | 4. 巻 52(5) |
| 2. 論文標題 【貧困家庭の子どもへ必要な健康支援】貧困家庭の子ども健康を守る 実現可能性を目指して | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 地域保健 | 6. 最初と最後の頁 8-27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 西岡 大輔, 近藤 尚己 | 4. 巻 39(1) |
| 2. 論文標題 【孤独(社会的孤立、社会的排除)、貧困と精神医療】精神医療における「社会的処方」の可能性 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 精神科 | 6. 最初と最後の頁 64-70 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 10 |
| 2. 論文標題 Frequent outpatient attendance among people on the governmental welfare programme in Japan: assessing both patient and supplier characteristics | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 BMJ Open | 6. 最初と最後の頁 e038663 ~ e038663 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-038663 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Saito Junko, Ueno Keiko, Kondo Naoki | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Non financial social determinants of diabetes among public assistance recipients in Japan: A cohort study | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-038663 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Nishioka Daisuke, Tamaki Chisato, Furuita Noriko, Nakagawa Hirokazu, Sasaki Erin, Uematsu Rika, Ozaki Takeshi, Wakata Satoshi, Kondo Naoki | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Changes in health-related quality of life among impoverished persons in the Free/Low-Cost Medical Care Program in Japan: Evidence from a prospective cohort study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Epidemiology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13435 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 西岡大輔 | 4. 巻 261 |
| 2. 論文標題 被保護者健康管理支援事業の効果的な実施に向けて | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 季刊公的扶助研究 | 6. 最初と最後の頁 8-11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 西岡 大輔, 上野 恵子, 舟越 光彦, 斉藤 雅茂, 近藤 尚己 | 4. 巻 67 |
| 2. 論文標題 医療機関で用いる患者の生活困窮評価尺度の開発 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌 | 6. 最初と最後の頁 461 ~ 470 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 近藤尚己 | 4. 巻 261 |
| 2. 論文標題 なぜ健康管理支援は必要か：資本概念からの考察 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 季刊公的扶助研究 | 6. 最初と最後の頁 4-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 近藤尚己 | 4. 巻 261 |
| 2. 論文標題 なぜ健康管理支援は必要か：資本概念からの考察 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 季刊公的扶助研究 | 6. 最初と最後の頁 4-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計10件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 2件)

| |
|---|
| 1. 発表者名 西岡大輔 |
| 2. 発表標題 部署間連携型共同研究による被保護者健康管理支援データの活用：大阪府豊中市との取り組み |
| 3. 学会等名 日本計算機統計学会シンポジウム (招待講演) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 近藤尚己 |
| 2. 発表標題 Strategies to tackle health inequality at the community level Best Practices |
| 3. 学会等名 The 1st World Health City Forum (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 近藤尚己 |
| 2. 発表標題 孤独・孤立対策の意義と社会的処方について |
| 3. 学会等名 令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援 (招待講演) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 近藤尚己 |
| 2. 発表標題 健康の社会的決定要因を踏まえた診療～「社会的処方」の可能性を考える～ |
| 3. 学会等名 第4回釜石医師会学術講演会（招待講演） |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名 近藤尚己 |
| 2. 発表標題 社会的処方としての運動療法 |
| 3. 学会等名 第42回日本臨床運動療法学会学術総会（招待講演） |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 近藤尚己ほか |
| 2. 発表標題 住民と社会の健康を志向するデータリンケージ課題とその解決に向けて |
| 3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 西岡大輔、上野恵子、木野志保、相田潤、近藤尚己 |
| 2. 発表標題 生活保護受給者の歯科サービス利用の格差に関連する社会背景要因 |
| 3. 学会等名 日本疫学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 近藤尚己, 西岡大輔 (Equal contribution), 上野恵子, 木野志保, 齋藤順子 |
| 2. 発表標題 独居・不就労と頻回受診：生活保護受給者管理情報と医療扶助レセプトの連結データ解析 |
| 3. 学会等名 日本公衆衛生学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Nishioka D, Takaku R, Kondo N |
| 2. 発表標題 Impact of cutbacks in social security benefits on household medical care expenditure among public assistance recipients: Evidence from natural experiment involving age-based eligibility threshold in Japan |
| 3. 学会等名 第15回医療経済学会総会（国際学会） |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 西岡大輔 |
| 2. 発表標題 生活保護受給世帯の子どもの健康に関連する社会背景要因：自治体の生活保護データ分析 |
| 3. 学会等名 第123回日本小児科学会学術集会 |
| 4. 発表年 2020年 |

〔図書〕 計3件

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Naoki Kondo, Koryu Sato, Yuiko Nagamine | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 World Bank | 5. 総ページ数 - |
| 3. 書名 Designing Integrated Care for an Aging Population: Regulation and Governance for Healthy (in Hou,Xiaohui; Sharma,Jigyasa; Zhao,Feng. Silver Opportunity - Building Integrated Services for Older Adults around Primary Health Care) | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 近藤尚己, 西村真紀 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 中外医学社 | 5. 総ページ数 282 |
| 3. 書名 実践 SDH診療 できることから始める健康の社会的決定要因への取り組み | |

| | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 2. 日本疫学会 (監修)、近藤 尚己 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 朝倉書店 | 5. 総ページ数 576 |
| 3. 書名 第6章 「社会疫学」編集、疫学の事典 | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|--|---|----|
| 研究分担者 | 西岡 大輔 (Nishioka Dasuke) (90901041) | 大阪医科大学・研究支援センター・講師 (34401) | |

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---|-----------------------|----|
| 研究協力者 | 木野 志保 (Kino Shiho) (30901558) | | |
| 研究協力者 | 上野 恵子 (Ueno Keiko) (20617534) | | |

6. 研究組織（つづき）

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|--|-----------------------|----|
| 研究協力者 | 齋藤 純子 (Saito Junko) (30288443) | | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
| | |